

○市長（染谷絹代） 議員の皆様方、本当にありがとうございました。皆様方がとても落ち着いておられて、そして時間の中にきちっとまとめるように時計を見ながら質問を調整してくださったり、自分の意見を最後につけ加えてくださったりしていることに驚きました。そしてまた、自分の夢をこの場でしっかりと語れることはすごいことだと感心をいたしました。

この女性議会、ことしで5年目になるとお話をいたしました。最初のころはやはり生活者の視点として、街灯が足りないとか、アスファルトの舗装が時々穴が開いているのではないかというような、まさに生活に直結した質問が多うございました。しかし、ことしはまさにまちづくりの観点であったり、それからボランティアとして、あるいは教育の現場で活躍できないだろうか、あるいは、こういう提案は実現できないのだろうかという施策の提案もございまして、皆様方の議員としてのレベルアップがつくづく感じられた5回目でありました。

この女性議会は、先ほどお話ししたように女性の視点を持って男女がともに市政について語り合う場として、まちづくりの人材発掘や、あるいは市議会議員としてここから生まれてくる人がいたらいいというような思いも込めてやっていますが、まさにきょう新たな人材をこの8人、発掘させていただいたと思いましたが、既に市議会議員の中には、この女性議会の経験者の方も、本物の市議会議員になっておられます。ぜひこの中からも新しい市議会議員なる方が、そういった夢や自分の進路を選択する方が出てきてくれたらうれしいと思っています。

これからもこの女性議会、毎年続けながら、まさに女性が元気なまち島田というのが男女共同参画のその根本のところなのだろうと思っています。女性の皆様のみならず男性も、そして若い人も、そして年配の人も、みんながそれぞれの役割、自

分にできることを楽しみながら、さまざまに活動できる、そうした市民協働のまちをつくっていきたいというのがきょうの改めての感想でありました。

皆様、本当にありがとうございます。そして、お疲れさまでした。